

Confidential

公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団

「2014 年度在宅医療推進のための会」

報 告 書

年間テーマ

地域包括ケアシステムと病院医療

～川上から川下までのネットワーク化～

座長：蘆野 吉和 氏

(青森県立中央病院 医療管理監・緩和ケアセンター長)

## — 目 次 —

|  |         |
|--|---------|
| ■はじめに（座長：蘆野吉和氏）                          | 1 P     |
| ■参加委員名簿                                  | 2 P     |
| ■第1回研究会（5/16）                            | 5 P     |
| ・滝谷 博志氏「岐阜地域における地域連携」～公的病院の立場から～         |         |
| ・小笠原 文雄氏「岐阜地域における地域連携」～診療所の立場から～         |         |
| ■第2回研究会（6/20）                            | 1 7 P   |
| ・西村 元一氏「石川県と石川県医師会が一体となった在宅医療土台作り」       |         |
| ・城谷 典保氏「急性期病院の意識をどう変えていくのか」              |         |
| ～これまでの取り組みと今後の課題～                        |         |
| ■第3回研究会（7/18）                            | 3 5 P   |
| ・松田 晋哉氏「地域医療ネットワーク化のありたい姿について」           |         |
| ■第4回研究会（9/19）                            | 5 1 P   |
| ・佐々木 昌弘氏「これからの医療行政と在宅医療」                 |         |
| ・島崎 謙治氏「地域医療ビジョン（構想）の背景・意義・課題について」       |         |
| ■第5回研究会（10/17）                           | 7 5 P   |
| ・伊藤 順一郎氏                                 |         |
| 「地域精神医療における、訪問中心の包括型地域生活支援プログラム（ACT）の役割」 |         |
| ■第6回研究会（12/19）                           | 9 7 P   |
| ・荒金 英樹氏「地域へ広がる栄養サポート」～京都の挑戦              |         |
| ・和田 智仁氏「地域における医科歯科連携を成功させるために」           |         |
| ～口腔ケアサポートセンターの使命～                        |         |
| ■第7回研究会（1/16）                            | 1 1 9 P |
| ・前田 浩利氏「小児在宅医療の現状と課題」                    |         |
| ・田村 正徳氏「NICU から始まる社会の安全システムとしての小児在宅医療」   |         |
| ・山崎 和子氏「埼玉県における小児在宅医療推進の取り組み」            |         |
| ～小児等在宅医療連携拠点事業を通じて～                      |         |
| ・富田 直氏「東京都多摩地区における小児在宅医療の取り組み」           |         |
| ～当院における小児在宅医療の実際～                        |         |
| ■第8回研究会（2/20）                            | 1 5 3 P |
| ・葛西 龍樹氏「医学教育における人材育成について」                |         |
| ・飯島 勝矢氏「新しい大学 地域間連携を目指して」～東京大学の取り組み～     |         |

## 平成 26 年度「在宅医療を推進するための会」報告書

座長 蘆野吉和（青森県立中央病院 医療管理監・緩和ケアセンター長）

### <はじめに>

今年度（平成26年度）より、地域包括ケアのシステム構築に向けて取り組みが本格化します。少子超高齢化そして多死の時代を迎えるにあたっての準備ともいわれますが、それと同時に、戦後より目指してきた社会のあり方およびこれまでの医療のあり方を現在社会に住まう人々のニーズに合わせ、また、近未来の社会状況にあわせて見直し、新しい地域社会および医療のあり方を模索する取り組みでもあるものと考えます。

この地域包括ケアシステムの5つの要素として、医療、介護、予防、福祉・生活支援、住まいがありますが、その中核となるのが医療と介護であり、各地域の状況に即した在宅医療体制の構築であるとされています。

この在宅医療体制の構築は、2006年から始まっていますが、これまでの約8年間の取り組みの成果を見ますと、「在宅医療を念頭においた地域医療介護連携」が進んでいる。地域がある一方で、まだまだ、取り組みがなされていない地域や、取り組んでも様々な障壁（バリア）があり、連携がすすんでいない地域が多いのが現状と思われます。そのバリアとして指摘されているのが、（1）受け皿となる在宅医療側の体制の不備（訪問診療を行う医療機関・訪問看護ステーションの不足、後方支援病院・中間施設の不足）、（2）送り手となる急性期病院側の（特に医師の）①在宅に対する理解不足、②病院完結型志向（治すことへの執着あるいは紹介することに対する抵抗感）、③病気や病状に関する説明不足（特に治らない疾患や病態に対し）、（3）地域住民の意識（病院信仰、治すことへの執着、紹介されることに対する抵抗感など）などです。この中でも特に（2）（3）は、意識変容が必要な事項であり、非常に難しい課題として、これまで話題にはなっていたものの、具体的な対応策について議論できませんでした。そこで、今年度は「地域包括ケアシステムと病院医療～川上から川下までのネットワーク化～」というテーマで、特に急性期病院の医療従事者に地域包括ケアを理解、あるいは意識してもらうための具体的方策について議論することとしました。

なお、「川上から川下」というフレーズは「社会保障国民会議最終報告書」で以下のような文章の中で使われています。ものであり、特に病院が医療の上位にあたるという意味で用いられています。ものではありません。

『「病院完結型」の医療から「地域完結型」の医療への転換が成功すると、これまで一つの病院に居続けることのできた患者は、病状に見合った医療施設、介護施設、さらには在宅へと移動を求められることになる。居場所の移動を伴いながら利用者のQOLを維持し家族の不安を緩和していくためには、提供先が移動先への紹介を準備するシステムの確立が求められる。ゆえに、高度急性期から在宅介護までの一連の流れ、容態急変時に逆流することさえある流れにおいて、川上に位置する病床の機能分化という政策の展開は、退院患者の受入れ体制の整備という川下の政策と同時にされるべきものであり、川上から川下までの提供者間のネットワーク化は新しい医療・介護制度の下では必要不可欠となる。そして、こうしたネットワークの中で、患者の移動が円滑に行われるよう、医療機関側だけでなく、患者側にもインセンティブが働くシステムとなることが望ましい。』（傍線は座長が追加）

「2014年度在宅医療推進のための会」参加委員名簿

| 氏名                    | 所属  | 役職                  |
|-----------------------|---|---------------------|
| ★あしの よしかず<br>★蘆野 吉和   | 社会医療法人北斗 北斗病院/十勝リハビリテーションセンター                   | 在宅医療科部長/在宅医療支援センター長 |
| いいまかつや<br>飯島 勝矢       | 東京大学 高齢社会総合研究機構                                 | 准教授                 |
| いけがき じゅんいち<br>池垣 淳一   | 兵庫県立がんセンター                                      | 緩和医療担当部長            |
| うつのみや ひろこ<br>宇都宮 宏子   | 在宅ケア移行支援研究所 宇都宮宏子オフィス                           | 代表                  |
| おおしましんいち<br>大島 伸一     | 独立行政法人 国立長寿医療研究センター                             | 名誉総長                |
| おおしまひろこ<br>大島 浩子      | 独立行政法人 国立長寿医療研究センター<br>老年学・社会科学研究センター 在宅医療開発研究部 | 長寿看護・介護研究室長         |
| おおた ひでき<br>太田 秀樹      | 医療法人 アスムス                                       | 理事長                 |
| おおはし えいじ<br>大橋 英司     | 医療法人社団 大橋内科胃腸科                                  | 院長                  |
| おがわ としこ<br>小川 聡子      | 医療法人社団 東山会                                      | 理事長                 |
| かめい としみつ<br>亀井 敏光     | 医療法人 友愛医院                                       | 院長                  |
| かわい まこと<br>川井 真       | 一般社団法人 JA共済総合研究所                                | 主席研究員               |
| かわしま こういちろう<br>川島 孝一郎 | 仙台往診クリニック                                       | 院長                  |
| きたざわ あきひろ<br>北澤 彰浩    | 佐久総合病院附属小海診療所                                   | 所長                  |
| くろいわ たくお<br>黒岩 卓夫     | 医療法人社団 萌気会                                      | 理事長                 |
| くわはら なおゆき<br>桑原 直行    | 秋田県厚生医療センター                                     | 脳神経外科診療科長           |
| こえだ じゅんいち<br>小枝 淳一    | 社団法人慈恵会 青森慈恵会病院                                 | 緩和ケア統括部長            |
| こじま はじめ<br>小嶋 一       | 医療法人 溪仁会 手稲家庭医療クリニック                            | 院長                  |
| こだまつよし<br>小玉 剛        | こだま歯科医院   | 院長                  |
| ☆さとう あきら<br>☆佐藤 智     | 一般社団法人 ライフケアシステム                                | 会長                  |
| しまざき けんじ<br>島崎 謙治     | 政策研究大学院大学                                       | 教授                  |
| しみず まさかつ<br>清水 政克     | 清水メディカルクリニック                                    | 副院長                 |
| すずき たかお<br>鈴木 隆雄      | 独立行政法人 国立長寿医療研究センター                             | 所長                  |
| すずき ひろし<br>鈴木 央       | 鈴木内科医院  | 院長                  |
| たしろ たかお<br>田城 孝雄      | 放送大学教養学部 / 順天堂大学                                | 教授 / 客員教授           |
| たなか しげる<br>田中 滋       | 慶應義塾大学  | 名誉教授                |
| たにみず まさひと<br>谷水 正人    | 独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター                           | 副院長                 |
| つじ てつお<br>辻 哲夫        | 東京大学 高齢社会総合研究機構                                 | 特任教授                |
| つちはし まさひこ<br>土橋 正彦    | 土橋医院  | 院長                  |
| つるおか ゆうこ<br>鶴岡 優子     | つるかめ診療所   | 所長                  |
| とぼ けんじ<br>鳥羽 研二       | 独立行政法人 国立長寿医療研究センター                             | 理事長                 |
| ながいやすのり<br>永井康徳       | 医療法人 ゆうの森 たんぼクリニック                              | 院長                  |
| ながお かずひろ<br>長尾 和宏     | 医療法人社団 裕和会 長尾クリニック                              | 院長                  |
| にしだ しんいち<br>西田 伸一     | 医療法人社団 梟社会 西田医院                                 | 院長                  |
| にしむら げんいち<br>西村 元一    | 金沢赤十字病院   | 副院長                 |
| はぎた ひとし<br>萩田 均司      | 有限会社メディフェニックスコーポレーション                           | 代表取締役               |
| はながた てつお<br>花形 哲夫     | 花形歯科医院  | 院長                  |
| はなぶさ ひろお<br>英 裕雄      | 医療法人社団 三育会                                      | 理事長                 |
| はらだ あつし<br>原田 敦       | 独立行政法人 国立長寿医療研究センター                             | 病院長                 |
| ひらはら さとし<br>平原 佐斗司    | 東京ふれあい医療生協 梶原診療所                                | 在宅サポートセンター長         |
| ふじた しんすけ<br>藤田 伸輔     | 国立大学医療連携・退院支援関連部門連絡協議会 千葉大学医学部附属病院 地域連携部        | 教授                  |
| べにや ひろゆき<br>紅谷 浩之     | オレンジホームケアクリニック                                  | 代表                  |
| まつしま だい<br>松嶋 大       | 一般財団法人 岩手済生医会 中津川病院                             |                     |
| みうら ひさゆき<br>三浦 久幸     | 独立行政法人 国立長寿医療研究センター                             | 在宅連携医療部長            |
| みうら まさえつ<br>三浦 正悦     | 医療法人 心の郷  | 理事長                 |
| よしの たかし<br>吉野 隆之      | 独立行政法人 国立長寿医療研究センター                             | 企画戦略局長              |
| わた だだし<br>和田 忠志       | 医療法人社団 実幸会 いらはら診療所                              | 在宅医療部長              |
| わたなべ しょう<br>渡辺 象      | 医療法人社団 じゅんせいクリニック                               | 院長                  |
| わたなべ むつこ<br>渡辺 陸子     | 神奈川県女性薬剤師会                                      | 会長                  |

★座長、☆相談役

(50音順・敬称略)

厚生労働省等

|    | 氏名                 | 所属                             | 役職          |
|----|--------------------|--------------------------------|-------------|
| 1  | えのひでお<br>江野 英夫     | 厚生労働省 医政局 医療経営支援課              | 課長補佐        |
| 2  | ごとう ともみ<br>後藤 友美   | 厚生労働省 医政局 地域医療計画課 在宅医療推進室      | 在宅看護専門官     |
| 3  | さこい まさみ<br>迫井 正深   | 厚生労働省 老健局 総務課                  | 老人保健課長      |
| 4  | ささき まさひろ<br>佐々木 昌弘 | 厚生労働省 医政局 地域医療計画課 在宅医療推進室      | 室長          |
| 5  | しろうず なち<br>白水 那智   | 厚生労働省 医政局 地域医療計画課 在宅医療推進室      | 在宅医療係       |
| 6  | たかだ じゅんこ<br>高田 淳子  | 厚生労働省 医政局 歯科保健課                | 歯科医師臨床研修専門官 |
| 7  | たかやま よしひろ<br>高山 義浩 | 厚生労働省 医政局 地域医療計画課 医師確保等地域医療対策室 | 室長補佐        |
| 8  | たけだ としひこ<br>武田 俊彦  | 厚生労働省 大臣官房                     | 審議官(医療保険担当) |
| 9  | なぐら みちあき<br>奈倉 道明  | 厚生労働省 医政局 地域医療計画課 在宅医療推進室      | 室長補佐        |
| 10 | はっとり しんじ<br>服部 真治  | 厚生労働省 老健局 総務課                  | 課長補佐        |
| 11 | はやさか ゆみこ<br>早坂 由美子 | 厚生労働省 医政局 地域医療計画課 在宅医療推進室      | 研修生         |
| 12 | ひろさわ ともや<br>廣澤 友也  | 厚生労働省 医政局 地域医療計画課              | 課長補佐        |
| 13 | ふじもと こう<br>藤本 晃    | 厚生労働省 医政局 地域医療計画課 在宅医療推進室      | 在宅医療係長      |
| 14 | みづら こうじ<br>三浦 公嗣   | 厚生労働省 老健局                      | 老健局長        |
| 15 | みやじま としひこ<br>宮島 俊彦 | 内閣官房 社会保障改革担当室                 | 室長          |
| 16 | やまくち みちこ<br>山口 道子  | 厚生労働省 保険局 医療課                  | 看護医療専門官     |

(50音順・敬称略)

自治体

|   | 氏名                    | 所属        | 役職 |
|---|-----------------------|-----------|----|
| 1 | かみや かずこ<br>上家 和子      | 大阪府 健康医療部 | 部長 |
| 2 | わたなべ けんいちろう<br>渡辺 顕一郎 | 奈良県 医療政策部 | 部長 |

(50音順・敬称略)

## 第1回「2014年度在宅医療推進のための会」

話題提供： 滝谷 博志 氏  
岐阜県総合医療センター 理事長  
「岐阜地域における地域連携」～公的病院の立場から～

小笠原 文雄 氏  
医療法人聖徳会 小笠原内科 院長  
「岐阜地域における地域連携」～診療所の立場から～

日 時： 平成26年5月16日（金）19：00～21：00

場 所： 東京都中央区八重洲 1-3-7 八重洲ファーストフィナンシャルビル 3F  
ベルサール八重洲 ROOM5

## 第2回「2014年度在宅医療推進のための会」

話題提供： 西村 元一 氏  
金沢赤十字病院 副院長  
「石川県と石川県医師会が一体となった在宅医療土台作り」

城谷 典保 氏  
医療法人社団鴻鵠会 理事長  
「急性期病院の意識をどう変えていくのか」  
～これまでの取り組みと今後の課題～

日 時： 平成26年6月20日（金）19：00～21：00

場 所： 東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー6F  
ステーションコンファレンス東京 605BC 会議室

## 第2回勉強会（2014年6月20日開催）

第2回勉強会は第1回勉強会に引き続き、地域連携体制構築の成功事例を西村元一氏（金沢赤十字病院副院長）に、急性期病院の医療従事者の意識変容を進めるための戦略について城谷典保氏（医療法人鴻鵠会理事長 一般社団法人日本在宅医療学会理事長：元 東京女子医大八千代医療センター副院長・外科教授）に講演をお願いしました。

西村元一氏は病院勤務医であり在宅医療の経験はないのですが、平成21年から地域医療連携室担当となり、地域連携や在宅医療に関わり始めたようです。なお、平成24年から石川県医師会の理事として活動しています。今回は『石川県と石川県医師会が一体となりました。在宅医療推進の土台作り』という題名で発表していただきました。一方、城谷典保氏は平成5年に東京女子医大在宅医療システム研究プロジェクトリーダーとなり、平成8年に大学病院（東京女子医大）に後方連携を視野に地域医療支援・推進室を立ち上げ、平成13年から地域連携型大学病院としての八千代医療センターの立ち上げにかかわり、そして、現在は自ら在宅医療の現場で活動しており、これまでの長い経験をもとに『急性期病院の意識をどう変えていくのか～これまでの取り組みと今後の戦略～』という題名で発表して頂きました。

### 第3回「2014年度在宅医療推進のための会」

話題提供： 松田 晋哉 氏  
産業医科大学 医学部公衆衛生学教室 教授  
「地域医療ネットワーク化のありたい姿について」

日 時： 平成26年7月18日（金）19：00～21：00

場 所： 東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー6F  
ステーションコンファレンス東京 605BC 会議室

## 第4回「2014年度在宅医療推進のための会」

話題提供： 佐々木 昌弘 氏  
厚生労働省 医政局 地域医療計画課 在宅医療推進室 室長  
「これからの医療行政と在宅医療」

島崎 謙治 氏  
政策研究大学院大学 教授  
「地域医療ビジョン(構想)の背景・意義・課題について」

日 時： 平成26年9月19日(金) 19:00～21:00

場 所： 東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー6F  
ステーションコンファレンス東京 605BC 会議室

## 第5回「2014年度在宅医療推進のための会」

話題提供： 伊藤 順一郎 氏  
独立行政法人 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所  
社会復帰相談部 部長  
「地域精神医療における、訪問中心の包括型地域生活支援  
プログラム（ACT）の役割」

日 時： 平成26年10月17日（金）19：00～21：00

場 所： 東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー6F  
ステーションコンファレンス東京 605BC 会議室

## 第6回「2014年度在宅医療推進のための会」

話題提供： 荒金 英樹 氏  
一般社団法人愛生会 愛生会山科病院 外科消化器科部長  
「地域へ広がる栄養サポート」～京都の挑戦～

和田 智仁 氏  
一般社団法人京都府歯科医師会 地域保健部 部員  
医療法人純康会 徳地歯科医院 副院長  
「地域における医科歯科連携を成功させるために」  
～口腔サポートセンターの使命～

日 時： 平成26年12月19日（金）19：00～21：00

場 所： 東京都中央区八重洲 1-3-7 八重洲ファーストフィナンシャルビル 3F  
ベルサール八重洲 ROOM5

## 第6回勉強会（2014年12月19日開催）

第6回勉強会は、栄養・嚥下リハビリ・口腔ケアを核とする地域における多職種連携のこころみというテーマで、現在京都で展開されている食支援に関する幅広い地域連携活動を荒金英樹氏と和田智仁氏に紹介していただきます。

荒金英樹氏は京都市山科区にある愛生会山科病院（急性期一般病院）で消化器外科に勤務し、病院内での栄養サポートチームをさらに地域に拡大し、医療従事者だけでなく介護従事者および京都の食に関する団体をまきこんだ栄養支援活動を展開しており、「京滋摂食・嚥下を考える会」の代表世話人でもあります。今回は、「地域へ広がる栄養サポート～京都の挑戦～」という題名で講演して頂きます。

和田智仁氏は京都府歯科医師会地域保健部に属し、徳地歯科医院で副院長として外来診療および訪問歯科診療等を担当しております。今回は「地域における医科歯科連携を成功させるために～口腔サポートセンターの使命～」という題名で講演して頂きます。

## 第7回「2014年度在宅医療推進のための会」

- 話題提供： 前田 浩利 氏  
医療法人財団はるたか会 理事長  
「小児在宅医療の現状と課題」
- 田村 正徳 氏  
埼玉医科大学総合医療センター小児科 教授  
「NICU から始まる社会の安全システムとしての小児在宅医療」  
～これまでの取り組みと今後の課題～
- 山崎 和子 氏  
埼玉医科大学総合医療センター小児科 医員  
「埼玉県における小児在宅医療推進の取り組み」
- 富田 直 氏  
東京都立小児総合医療センター 神経内科 医長  
「東京都多摩地区における小児在宅医療の取り組み」  
～当院における小児在宅医療の実際～

日 時： 平成27年1月16日（金）19：00～21：00

場 所： 東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー6F  
ステーションコンファレンス東京 605BCD 会議室

## 第7回勉強会（2015年1月16日開催）

第7回勉強会は「小児在宅医療推進のための会」との合同勉強会とし、「小児在宅医療」をテーマに開催します。総合司会を蘆野吉和が担当し、座長を前田浩利氏にお願いしました。

講演は最初に前田浩利氏（医療法人財団はるたか会 理事長）から、「小児在宅医療の現状と課題」の題名で小児在宅医療の特殊性と今後の課題についてお話ししていただき、二番目に田村正徳氏（埼玉医科大学総合医療センター小児科教授 総合周産期母子医療センター長）から「NICU から始まる社会の安全システムとしての小児在宅医療」の題名で非常に大きな社会的な問題になっている NICU の問題を含めてお話をしていただき、三番目に山崎和子氏（埼玉医大総合医療センター小児科 在宅医療チーム）から「埼玉県における小児在宅医療推進のとりくみ～小児等在宅医療連携拠点事業を通して～」の題名で小児等在宅医療連携拠点事業取り組みを通して見えてきたことについて、四番目に富田直氏（東京都立小児総合医療センター神経内科医長）から「東京都多摩地区における小児在宅医療の取り組み～当院における小児在宅医療の実際～」の題名で、同じく小児等在宅医療拠点事業について、そして東京都が総力を挙げて作った我が国の小児医療の1つの先端である東京都立小児総合医療連携センターでどういうことが起こっているかについてお話しをいただき、最後に前田浩利氏のまとめの話をしていただきます。

## 第8回「2014年度在宅医療推進のための会」

話題提供： 葛西 龍樹 氏  
福島県立医科大学 地域・家庭医療学講座 主任教授  
「医学教育における人材育成について」

飯島 勝矢 氏  
東京大学高齢社会総合研究機構 准教授  
「新しい大学—地域間連携を目指して」  
～東京大学の取り組み～

日 時： 平成27年2月20日（金）19：00～21：00

場 所： 東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー6F  
ステーションコンファレンス東京 605BC 会議室

## 第8回勉強会（2015年2月20日開催）

第8回研究会は、医学教育における人材育成というテーマで、特に医師となる学生に対する在宅医療の教育に関わっているお二人の先生に、その現状をお話していただきます。

今回のテーマは、在宅医療を推進するためには、医師の意識変容（医療に地域の視点や生活の視点を入れる）が必要であり、その視点を早い時期からもってもらうためには現在の医学教育に何らかの工夫が必要であり、それもシステムチックな工夫が必要であるものと感じ、その戦略を委員の皆様と一緒に捻り出したいという思いで企画しました。

最初の講演は、福島県立医科大学医学部の葛西龍樹先生に「医学教育における人材育成という」題名でお話していただきます。なお、葛西先生の経歴は講演の中で詳しく説明されていますが、2006年に福島県立医科大学に地域・家庭医療学の講座を立ち上げられて、8年がたっておりますので、その成果なども報告していただけるものと思います。次に、当勉強会の委員の一人でもあり、在宅医療を推進する立場で昨年からは現場での学生教育に取り組み始めた飯島勝矢先生には「新しい大学—地域間連携を目指して～東京大学の取り組み—」という演題名で、これまでの取り組みの経過報告となると思いますが、どのような取り組みを行っているのか、現在までの課題と今後の展望についてお話を伺いたいと思います。